

福新新聞

(毎月 廿五) 二回
 定價 郵税五厘 壹ヶ月廿錢
 廣告料 雜報附五錢 增
 場所指定十錢 增
 發行兼編輯印刷人
 市島 範三
 福島縣平町町十四
 發行所 福新新聞社

はリスク
 目丁五町平
 局藥邊野山

總大将に

相馬子爵の御曹子

元龜、天正の繪卷物そのまに相競武者千騎

相馬野馬追祭の偉觀

宵乘、菰被り、旗奮ひ、火の祭、野馬掛 三日に亘る日本無双の盛儀

想ふそのかみ、櫻田烈士五十年忌の靖國神社に招かれて、春の大路を昔ながらの旗差物落花に勇む駒の蹄に掛けて氣負ひの晴れ姿に天下の人氣を取つて占めた相馬武者の面影を畏くも先帝陛下の天覽を辱ふしける光榮に日本無双の名をわれも誇り他人も許す野馬追祭は十一日より三日間相馬の廣野に展開されるのである。宵乘の行事十一日は中村野馬掛也、午前九時より縣社中村神社に莊嚴なる渡御の盛式を了して南と指す神輿に從ふ、甲冑の騎馬武馬は百餘、弓と鐵砲相次ぎ神官引つ添ふ。

大總督の相馬藩士を纏る武者二百と軍服の在郷軍人多数の對照亦面白く斯くて國道を進出し

中村より鹿島へ夏の陽を浴びて入る、黄昏に近く「原野」に至り、「三島神社」境内の假御殿に神輿は安置される宵乘の行事とは之れなり野馬追の濫觴は平親王平將門に出づ、下總小金ヶ原に武を磨して兵を練り馬を追へりこを奥洲に國換へしても鬼神に献ずる馬を狩るに擬して兵を行くしが緒を作せるや即ち今は縣社中村太田、小高の三妙見社の祭典と再興され居る也、菰被り理、例年遠く水戸仙臺よりの參詣人拾萬と尊せられ興行物の軒並びて股賑を極む、此の夜の原町人は満ちて宿なしの見物人は蕪を被りて大地に吟す者多仍て之れを菰被りと云ふ

斯くて唄聲に更けて十二日北なる水田と河畔へかけての天は白み來る武者は新田貝殼に灯す幾萬とも知れぬ河原を指す總勢二千餘騎と御神火の華さ美しき云ふば註せらる、巳の刻に神輿の警蹕も嚴かに雲雀ヶ原に乗り込む行列は蛇蜒二里餘に渉る、午後刻祭場に入り終つて本陣山頭に金地扇に日の丸打つたる御大将の馬印が神輿を守つて燦然たり時に中空へ狼煙一發——煙の中に小旗の翻へるを見る追ふ廣望三里の廣原は馬の蹄に埃上る、二發三發と揚る狼煙に此の旗奮ひの先頭第一功名こそは我れと名乗り出る迄の鐵鞭の打合ひ組合ひ目ざましくも亦目ざまし

火の祭、夜に入りて火の祭あり平濱に白弊を負へる神馬追への儀ありて小高町の

記者等は旅行するとき往々にしてカビの生した「兩切物」煙草を買ひ當て、不味い思ひに困ることがある飯より好な煙草がまづかつた感じは愛煙家の誰れもが等しく同感であらう、旅行好きの記者は此頃しばらく小高町地方に旅行を續けた。毎日二つ三つ兩切ものを吸ふ記者は行き先きくで煙草を買つたが小高地方では絶對と云ふてもよい位カビの煙ある煙草を見なかつたことは嬉しかつたので歸宅に先つて小高町の煙草專賣所を訪ふ。同所の主任である仙臺から赴任された伊藤博氏が心よく招じてくれて先づ此の話題に移る。

同氏は年齢二十七八の温顔な極めて謙遜深い青年であるが同所の主任として選ばれただけに確りした人物である。記者の問ひに對して同氏は簡単に語る。

且つては東北の大親分として仁俠を謳はれ氏の謙遜に富む性格は大眾に向つて

常に自力更生の訓導者とし總てを知るもの、何人も氏で働き今や功成り名遂げてのために一日も早く回健を相馬郡小高町の邸宅に據り祈つてゐられると云ふが氏町發展のために終始力を出し回復は延びて町一般の幸しつゝあつたが天は斯る有福を増大せしむるに餘りあ爲の氏のために不順を與へるものといふも決して過言漸く病床に重き歳月を送りではないのである。

居ると聞く、同氏の人格と

愛煙家の喜び

小高町煙草專賣所 主任 伊藤博氏は云ふ

のないうまに嫌な感と與へぬようにすることは我々の責務である以上平素販賣所に向つてカビの生したようなものは早速引換も出来るから賣る方でも商賣と云ふ二字に留意してこうした場合早速申出てくれと配達させざる場合配達人にも申聞けてやりますのでそうしたこと絶対見ぬことになつた理で決してあなたにお褒めを願ふような程のものでもなく之れは當然私達の踏むべき道を踏んでゐるのに外ならない理なのです

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-------|---------|----------|-------|----------|-------|-------|-------|--------|--------|--------------|-------|--------|------|----------|-----------|------------|------------|-------------|---------|---------|------------|--------------------|---------|---------|-----------|------|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|----------|--------|-------------|-----------|-------------------|------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 相馬農學學校長 | 佐藤 弘毅 | 福電原町營業所 | 福島縣相馬郡原町 | 松本酒釀店 | 電話一五電略マツ | 龜屋酒造店 | 猪又 義信 | 松下 末松 | 双葉郡富岡町 | 御料理 花月 | 仕出し 宴會場の設備あり | 志賀儀三郎 | 原町郵便局長 | 岩崎 清 | 平驛長 後藤 讓 | 原町驛長 凌 時幹 | 小高驛長 陰山 俊衛 | 鹿島驛長 荒木 三郎 | 警城太田驛長 仁志好助 | 縣社 太田神社 | 社司 武内清賢 | 太田村長 岡田庄治郎 | 太田村尋常高等小學校 校長 飯野治郎 | 縣社 小高神社 | 社司 相場胤良 | 小高町 綿屋吳服店 | 電話七番 | 仙臺煙草專賣局書記 張所長 伊藤 博 | 小高町 林藥品商會 | 小高町 電話五三番 | 祝野馬追祭遠藤キヨ | 小高町 鈴木重郎治 | 小高町助役 錦織新太郎 | 原町 高橋吳服店 | 電話二三一番 | 土木請負業 庄司 卷造 | 原町 電話二四〇番 | 木材建築請負新炭輸出商 古内龜次郎 | 小高驛前 電話四三番 | 原町 材木商組合 | 林 材木店 | 星 材木店 | 大 材木店 | 加 材木店 | 青 材木店 | 青 材木店 | 木 材木店 | 木 材木店 | 佐 材木店 | 伏 材木店 | 鈴 材木店 |
|---------|-------|---------|----------|-------|----------|-------|-------|-------|--------|--------|--------------|-------|--------|------|----------|-----------|------------|------------|-------------|---------|---------|------------|--------------------|---------|---------|-----------|------|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|----------|--------|-------------|-----------|-------------------|------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

庭園の趣味

記者は庭園に多少趣味と持った關係上、各地に至る毎度に其所の名ある庭園を見たが、今度原町猪又義信氏（醫院）の庭園を見た時程感に深くした事は恐らくない。餘り廣からねども四季の情味を色とり々に配合した点と尤も自然に留意して庭師によらず先生自身の自然趣味による造詣によつて造り上げたその風趣的知識には全く感心させられてしまつた。尚泉水や石草の配置など一として非を入れる点のない事も一驚に價ひする。記者は約一時間餘の眺めに飽かず、庭園に見惚れてゐたが暮霽が迫つたので亦の拜見を御願ひして辭した。

海水浴と小名濱

波靜に白砂長汀に延び青松は風致に富んで丘邊に遠く連なる、小名濱の夏こそは海水浴地として萬点の資格に富む食膳の上で魚は生氣に彩られ、近て吾鼓を打たしむ近時來遊客のます、殖えて來たのは當然な事であり得る。反面商工に漁に小名濱を知り得たい理由であるとして左の數氏を紹介する。

小名濱

波靜に白砂長汀に延び青松は風致に富んで丘邊に遠く連なる、小名濱の夏こそは海水浴地として萬点の資格に富む食膳の上で魚は生氣に彩られ、近て吾鼓を打たしむ近時來遊客のます、殖えて來たのは當然な事であり得る。反面商工に漁に小名濱を知り得たい理由であるとして左の數氏を紹介する。

立花秀吉氏

小名濱在郷軍人分會長として立派な人物である。口少くなくして實多しとは氏の如きを云ふが、信念に強い人で軍人精神教養に寢食を忘れて努力を續けて居る。婦君亦小名濱第一流の藝妓屋の女將として紅裙を指揮し内助の効あり、猶秀吉氏夫妻は田舎大夫として知らる程の義太夫の名手である。ウンではない一度は聴いて見玉ひ。

中村醫院

院長中村氏は刀圭界の重として本縣醫界に名のある人常に門前市をなす所以亦此所にある。

水野女學校

水野先生は淑徳の譽ある先生で女子教育家として誇りある人、同校からは賢母良妻の多出してゐる事も事實の証明である。

新米

海水浴客を遇するに欠点のない家、料理も甘く、親切である。一夕の樂を得んとするのものは新米の情熱な座敷で同家抱への世話のない名を縣認定を得た秀たる成績を示してゐるので將來を最も期待されてゐる。

湯本町

校主樋口ウ氏は日露の役に功あつて勳七等實冠章並金百五十圓を賜つた立派な女史であり開校と共に熱心なる教育の賜として第一卒業生十七名中十四名の第二回卒業生十五名の内十一名の縣認定を得た秀たる成績を示してゐるので將來を最も期待されてゐる。

仁俠を以つて

鳴る一代男 西丸猛氏 念れば小名濱の怨濤を押へ笑ひば無心に啼き交はす鷗も來り止る性格の所有者であり、半面土木工事方面に最も通達の間えあり氏も八町七も八町拳骨も八町と云ふ人に西丸猛氏がある。同氏は大小名濱建設のために御大小野普平氏と共に健闘を續けてゐる人で小名濱には是非なくてはならぬ肝要人材である。

立花雄七氏

小名濱漁業組合長として前小名濱漁業組合長として活躍 今日の隆盛を出した漁業者

湯本町

校主樋口ウ氏は日露の役に功あつて勳七等實冠章並金百五十圓を賜つた立派な女史であり開校と共に熱心なる教育の賜として第一卒業生十七名中十四名の第二回卒業生十五名の内十一名の縣認定を得た秀たる成績を示してゐるので將來を最も期待されてゐる。

湯本町

校主樋口ウ氏は日露の役に功あつて勳七等實冠章並金百五十圓を賜つた立派な女史であり開校と共に熱心なる教育の賜として第一卒業生十七名中十四名の第二回卒業生十五名の内十一名の縣認定を得た秀たる成績を示してゐるので將來を最も期待されてゐる。

湯本町

校主樋口ウ氏は日露の役に功あつて勳七等實冠章並金百五十圓を賜つた立派な女史であり開校と共に熱心なる教育の賜として第一卒業生十七名中十四名の第二回卒業生十五名の内十一名の縣認定を得た秀たる成績を示してゐるので將來を最も期待されてゐる。

湯本町

校主樋口ウ氏は日露の役に功あつて勳七等實冠章並金百五十圓を賜つた立派な女史であり開校と共に熱心なる教育の賜として第一卒業生十七名中十四名の第二回卒業生十五名の内十一名の縣認定を得た秀たる成績を示してゐるので將來を最も期待されてゐる。

湯本町

校主樋口ウ氏は日露の役に功あつて勳七等實冠章並金百五十圓を賜つた立派な女史であり開校と共に熱心なる教育の賜として第一卒業生十七名中十四名の第二回卒業生十五名の内十一名の縣認定を得た秀たる成績を示してゐるので將來を最も期待されてゐる。

湯本町

校主樋口ウ氏は日露の役に功あつて勳七等實冠章並金百五十圓を賜つた立派な女史であり開校と共に熱心なる教育の賜として第一卒業生十七名中十四名の第二回卒業生十五名の内十一名の縣認定を得た秀たる成績を示してゐるので將來を最も期待されてゐる。

夏衣賣出し

三井吳服店

暑中御伺

豊間村の漁港工事を見て

佐藤留之助氏

湯本町

湯本町

湯本町

湯本町

湯本町

湯本町

- 當選御禮 植田町會議員 鷺 清昇
- 北郷 繁七
- 渡邊 儀一
- 渡邊 重三郎
- 小宮山 皆吉
- 馬上 守一

- 平驛前 五十嵐商店 電話四五九番
- 平田町 末廣 電話四二二番
- 荒物商 伊勢屋商店 店主 阿部唯次郎
- 平一丁目 渡邊 貫一 電話一〇九
- 坂本 紙店 電話一八番
- 雙葉郡長塚村 有限責任長塚信用販賣 購買組合 林卯八郎
- 雙葉郡新山町 保證責任新山信用販賣 購買利用組合 佐藤五郎
- 銘酒 近盛 馬目支店 平町 田町 電話二五四番

- 平町新川町 木村 醫院
- 平町新川町 諸橋 外科醫院
- 平南町 織田 齒科醫院
- 平南町 上田 外科醫院
- 小間物、雜貨 大黒屋洋品店
- 美術石版印刷 三國屋印刷所 電話五三三番
- 萬屋 商店
- 萬屋 自動車部 平町四丁目 電話二七三番
- 魚問屋 穴戸屋
- 魚問屋 丸一屋 電話二二四番
- 質屋 兩替店 多田井笑次郎 平町大工町 電話五九一
- 内科 一般 難波 醫院 平町新川端(釜屋新宅向) 電話五〇二番
- 醫學博士 難波 睦
- 金 成 醫院 電話三五八番
- 當選御禮 好間村々會議員一同
- 石城郡町村長會

石城郡 湯本町 小瀧鑛泉 瀧の湯

◆効能 神經痛、リウマチ、胃痛、腸病、其他諸病に良し

眺望絶佳、湯槽清潔にして衛生に適す

◆湯本驛泉驛より自動車の便あり

夏衣賣出し 三井呉服店

何にも公共とか何んとか思
つてやつた仕事でもなく唯前小名濱漁業組合長として
々人間の踏むべき道を踏む活躍 今日の高盛を出した
敷で同家抱への世話のない名の縣認定を得た秀たる成
妓で愉快に遊んで見給ふ事 債を示してゐるので将来を
最も期待されてゐる

豊間村の 漁港工事を見て

記者は一日豊間に遊び漁飽かす。
港の工事場を見學す。
監督する者、働くものに總
てが之れ皆十人一人の如く
よく統率されて目まぐる
しい迄に工事の進歩に健闘
してゐることに感心した。

小林清吉氏

言葉すくなくれど其の内
に土木監督所長の貫録を充
分に示す識見才幹に溢る人
材である一般からの信望最
も厚く常に名監督所長の名
を慕ふとしてゐられる。
趣味としては圍碁の名手であ
ると。

富岡通信

富岡町上岡村を通して縣
議中のピカ一山田録郎氏を
浦め相當の人材に富んでゐ
るが左に列記する諸氏等尤
中の尤なるものである。
郵便局長

豊間海濱へ!

海邊の清淨と佳景を以つ
て周知される豊間海邊は平
驛より三里、途中自動車の
便により三十分にして海邊
に至る有名なる豊間燈臺は
高く青松茂る巖上に雄姿を
見せ燈臺附近よりの眺望萬
里の波濤を一望の内に納め
遠く眉延の如く犬吠岬を見
る壯景限なし。
波間には鮮魚常に跳り、漁船
の行き交様亦面白の風勢に
眺足なそうだ。

須藤留之助氏

校長中の校長として令名
がある。
謹嚴の人格者である、工
事上に就ても最も嚴正に親
切にしてやるので一般から
尤も信望を有し部下もよく
所長の徳望を慕つて孜孜と
して勤務をされてゐる。

遠藤助役氏

父としての山田氏の果斷
に對して母としての萬全を
盡す立派な人格者である。
土木請負業者として本縣下
に大譽を擡はるれ大親分だ
と、認識に富む人物とし
て知らる。

濱屋旅館

海水浴旅館として勉強と
親切とを以つて知られる座
敷も清潔で眺望も晴れてゐ
るの毎年來客が多い。

武藏鐵工場

平町の長坂で通る所毎日カ
ンタハンマの音勇ましい騒
々しい迄に響いてゐる繁榮
工場、武藏鐵工場は場主遠
山稻吉氏の鐵橋を渡る堅實
なる營業振が第一信用の因
をなし平町に於ける代表的
工場として名知されてゐる
「遠山鐵工場の標語」
「送る良品、來る信用、
造るも賣るも買ふ心」

土湯温泉の 大サビ 無料
川松 間 湯 土
自由自動車運轉
天下の名湯たるは何人も
周知の事實である。信夫郡
土湯温泉では松川、土湯間
を逗留の顧客に限り無料
で觀送迎する事になつた。
世智辛ら此の世の中に實
に驚異の一大奉仕である。
末に土湯の眞價を知らざる
愛湯諸賢に一度の來土をお
勤する者である其の理想
的模範旅館は左記であるを
御紹介する。

木村屋、扇屋
いすや、春美屋
金瀧、川上温泉
以上六軒が聯盟を作り松
川驛に下車し滞在の客限り
無料で送り迎ひするとの事
を付記して置く

生そば 御料理
酒喜庵 電話一七二番
大 小名濱町 電話三七番

暑中御伺

石城郡 小瀧鑛泉 瀧の湯
◆効能 神經痛、リウマチ、胃腸病其他諸病に良し
眺望絶佳湯槽清潔にして衛生に適す
◆湯本驛泉驛より自動車の便あり

磐城炭礦株式會社 内郷鑛業所	入山採炭株式會社 坑務所	古河炭礦株式會社 好間鑛業所	小田炭礦株式會社 萩原鑛業所	五十嵐 不動澤鑛業所	吉村炭礦 業所	浪花炭礦 業所	杉山炭礦 業所	川瀨炭礦 業所	小田 業所	古鍛冶町 木澤常松	鎌田町 金成國雅	福島貯蓄銀行平支店	平藝妓屋組合	平料理屋組合	湯本藝妓屋組合	平町旅館組合	平西洋料理業組合	東部電力株式會社 平營業所	湯本信用無盡株式會社
----------------	--------------	----------------	----------------	------------	---------	---------	---------	---------	-------	-----------	----------	-----------	--------	--------	---------	--------	----------	---------------	------------

難波醫院

醫學博士 難波 睦
平町 田町 電話二五四番

當選御禮 好間村々會議員一同	石城郡町村長會	磐城片倉製糸株式會社	福島縣立双葉中學校	石城郡各學校長會	磐城建物株式會社	石城銀行組合	二本松電氣株式會社	小名濱支店	福島縣平町 磐城共濟病院事務所 電話六四一番	郡山無盡株式會社 平出張所	加藤 丈夫	鷺 清昇	高橋 龜松	信用組合平庶民金庫	平運輸株式會社	四倉町 寅の湯 鑛泉旅館	◆眺望絶佳湯槽清潔にして衛生に適す	▲東北名湯 五色温泉高湯玉子湯 及び眼病特效ある湯 温泉の紹介記事は次號
----------------	---------	------------	-----------	----------	----------	--------	-----------	-------	------------------------	---------------	-------	------	-------	-----------	---------	--------------	-------------------	--------------------------------------

暑中御伺

貴族院議員	金成通	衆議院議員	比佐昌平	衆議院議員	鈴木辰三郎	衆議院議員	佐藤庄太郎	衆議院議員	福内和介	衆議院議員	野崎滿藏	衆議院議員	萩原義雄	衆議院議員	井上茂作	衆議院議員	石川徳壽	衆議院議員	山田六郎	衆議院議員	太田秋之助	衆議院議員	佐藤政藏	小野晋平	兒玉万平	古川傳一	白井一郎	關内正一	安島重三郎	青沼鋒太郎	四倉消防組頭	金成岩吉	内郷消防組頭	佐藤三平
-------	-----	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	--------	------	--------	------

處方調劑醫療器械 堀藥局 藥劑師 堀功 平二丁目 電話三二六番	瀨尾藥局 平 町 電話五五三番	小野常治商店 平四丁目 電話一四四番	西村屋藥局 平二丁目 電話三三番	山野邊藥局 平五丁目 藥劑師 山野邊次郎	關内藥局 平四丁目 電話四〇番	大平藥店 平一丁目 電話六四二番	水野藥局 平一丁目 藥劑師 水野清一	若林製糸所 浪江町	秋田齒科醫院 富岡町	蠶種業 大清水館 林庄太郎
--	-----------------------	--------------------------	------------------------	----------------------------	-----------------------	------------------------	--------------------------	--------------	---------------	---------------

常磐銀行 枺壽 電話六八九番	西洋料理 黒猫	綴郵便局長 四家又一	小野新町郵便局長 宗像清	石城郡江名町 平川醫院	石城郡江名町 山口屋	石城郡江名町 高崎喜三郎 電話五九番	豊間濱屋旅館 海水浴旅館 電話十九番	豊間大敷網事務所	浪江町 若林製糸所	富岡町 秋田齒科醫院	相馬郡石神村大原 蠶種業 大清水館 林庄太郎
-------------------	---------	------------	--------------	-------------	------------	-----------------------	--------------------------	----------	-----------	------------	------------------------

株式常磐銀行 原町支店	小高出張所	浪江出張所	株式七十七銀行 相馬原町支店	富岡町長 早川清久	富岡町郵便局 蛭田恭三	浪江驛前 浪江通運株式會社 電話三三七番	石神村長 大和田長治郎	小高町 石田吳服店	原町土木監督所長 鈴木義雄	富岡土木監督所長 須藤清藏	平土木監督所長 小林清吉	双葉郡富岡尋常高等小學校校長 佐藤留之助	双葉郡浪江尋常高等小學校校長 根本貞治
-------------	-------	-------	----------------	-----------	-------------	-------------------------	-------------	-----------	---------------	---------------	--------------	----------------------	---------------------

双葉郡幾世橋尋常高等小學校校長 鷗沼彦壽	中村町 相馬郡農會	中村町 中村合同運輸株式會社 電話九番一〇七番	中村町 丸山醫院	中村町 幾世橋醫院 電話一三〇番	中村町 幾世橋文九郎	中村町 門馬醫院 電話五七番	湯土 溫泉案内	木村 扇村	つた 富士	向美 向美	春根 春根	山根 山根	錦上 錦上	川上 川上	不 湯泉瀧屋
----------------------	-----------	----------------------------	----------	---------------------	------------	-------------------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------

東北の名湯

高湯溫泉 (岩代信夫郡)
客室 増築落成 玉子湯旅館
後 繼 治

福島より西南四里奥羽線庭坂驛より二重自動車の便あり吾妻の山腹にあり眺望佳良なり
弊館は萬事に注意し毫末庭不便なき様切可憐を本意とす「福島市より乗合自動車の便あり」

ぬる湯溫泉

悩病と眺病、効著し
痲病、梅毒、腫物、火傷、創傷、子宮病、皮膚病等に
好し
福島より西南四里、奥羽線庭坂驛より二里
福島通信夫水保村
當溫泉は親切 館主 一階堂伊藏
可憐を旨とす

釜屋商店

諸橋久太郎
平五 電九番九九番
三井生命保險株式會社代理店

お醬油はヤマフル
山崎合名會社
電話 本 店 二十七番 營業部 二十番

モリタヤ洋品店
平五丁目 電話三五三番